

代表者名	中嶋 章	所管部課名	農林水産部畜産振興課
所在地	秋田市河辺神内字堂坂2-1	設立年月日	昭和53年6月6日

【沿革及び県の出資理由】

秋田県における肉畜及び食肉流通の合理化を図り、もって畜産農家の経営安定と県民生活の向上に寄与する事を目的に、昭和53年6月6日に設立。と畜という広域的かつ公共的な事業を行う会社であることから、県も出資した。

【出資者】（23年度当初） (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	445,710	33.8
市町村	25	16,000	1.2
その他	6	857,990	65.0
計	32	1,319,700	100.0

【事業】

①主たる業務

1, 肉畜のと殺、解体。 2, 枝肉及び副生物の買い取り並びに受託処理加工。 3, 食肉及び副産物の加工並びに貯蔵販売。 4, 前各号に付帯する一切の事業。 5, 加工品の製造販売に関する事業。

②事業実績 (頭)

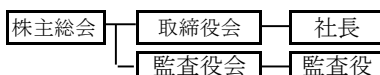
事業名等	20年度	21年度	22年度
豚と畜頭数	153,765	159,577	156,211
豚カット頭数	67,656	68,712	65,648

③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標

1. 平成22年度事業概要
豚と畜156,211頭、牛馬と畜4,498頭、豚カット65,648頭、牛馬カット998頭、枝肉・加工品販売高6,643百万円、総売上高7,105百万円
2. 平成23年度事業計画
豚と畜160,000頭、牛馬と畜4,350頭、豚カット69,000頭、牛馬カット1,100頭、枝肉・加工品販売高6,194百万円、総売上高6,659百万円

【組織】

①運営機構



- 検査室
- 総務部
- 事業部
- 加工部
- 製造部

②役員数 (H23.7.1現在) (人)

	取締役	監査役
常勤	3	1
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	7	2
内、県退職者		
内、県職員		
計	10	3
内、県関係者		

③職員数 (H23.4.1現在) (人)

正職員	52	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者		42歳	15年
出向職員	2		
内、県職員			
臨時・嘱託	5	正職員平均年収	
内、県退職者		4,142千円	
計	59		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	4人
役員報酬支給対象者平均年齢	58歳
平均役員報酬額	3,592千円/年

【財務】

①損益状況 (22年度) (千円)

	金額
経常収入 A	7,113,816
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	7,069,902
運用益収入	
その他	43,914
経常支出 B	7,055,719
人件費 (役員含む)	329,899
その他	6,725,820
経常損益 C = A - B	58,097
経常外収入	
経常外支出・諸税	36,058
当期損益	22,039

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

②財務状況 (22年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	881,130	54.0
固定資産	751,021	46.0
資産計	1,632,151	100.0
流動負債	211,881	13.0
短期借入金	2,616	0.2
固定負債	147,109	9.0
長期借入金	4,356	0.3
負債計	358,990	22.0
資本金	1,319,700	80.9
剰余金	△ 46,539	△ 2.9
純資産計	1,273,161	78.0
負債・純資産計	1,632,151	100.0

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	176,567	101,998	57.8%

※外部積立(中小企業退職金事業団74,569千円)

【県の財政支出】

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	71.10	71.64	78.01	0.54	6.37
	借入金依存率	%	11.22	8.71	0.43	▲ 2.51	▲ 8.28
	流動比率	%	408.16	359.81	415.86	▲ 48.35	56.05
収益性	剰余金（▲欠損金）	千円	▲ 93,431	▲ 68,578	▲ 46,539	24,853	22,039
	経常利益率	%	0.56	0.78	0.82	0.22	0.04
	総資本利益率	%	2.37	3.05	3.56	0.68	0.51
発展性	経常収入額	千円	7,304,779	6,799,384	7,113,816	▲ 505,395	314,432
効率性	総資本回転率		4.24	3.89	4.36	▲ 0.35	0.47
	職員1人当たり経常収入	千円	125,944	115,244	120,573	▲ 10,700	5,329
	人件費比率	%	4.58	4.96	4.64	0.38	▲ 0.32

2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	剰余金(千円)	目標	▲ 86,000	▲ 66,000	▲ 45,000	▲ 20,000
		実績	▲ 93,430	▲ 68,578	▲ 46,539	
事業成果指標	借入金残高(千円)	目標	193,592	152,108	110,624	4,399
		実績	193,592	152,108	6,972	
事業成果指標	と畜頭数(豚換算:頭)	目標	175,050	175,750	175,050	175,050
		実績	167,316	173,602	169,705	
	カット頭数(豚換算:頭)	目標	92,500	92,500	92,500	92,500
		実績	77,237	79,303	75,633	
顧客満足度指数	目標	80	80	80	87	
	実績	79	100	80		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

1. 課題
①事業量、販売先確保と債権管理、平成22年度から経営改善指標(剰余金)の経営目標に向けた取り組み。
2. 経営目標の達成状況への自己評価
①平成12年度から11期連続の単年度黒字計上で、19年度欠損金の半減目標が達成できた。
②借入金の内、1億円ほど繰り上げ償還を実施し、経常支出の削減及び健全性指標の改善につながった。
③国内景気の低迷と、消費の落ち込みにより、目標とする事業量は未達となった。経常損益は燃料費の高騰があったものの、経常支出の圧縮等により、当期損益は計画をやや下回ったものの、経営体質は改善されており、健全な経営が維持されている。
<顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組> 調査を継続し、消費者ニーズの把握に努める

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・と畜部門及びカット部門ともに、前年実績を下回ったが、販売部門が好調であったため、経常収入は314百万円増加となった。一方、原油価格高騰により売上原価は316百万円増加したものの、販売費及び一般管理費は前年度よりも6百万円削減したことから、経常利益は4百万円増加となった。累損解消計画を着実に遂行することが望まれる。</p>	